



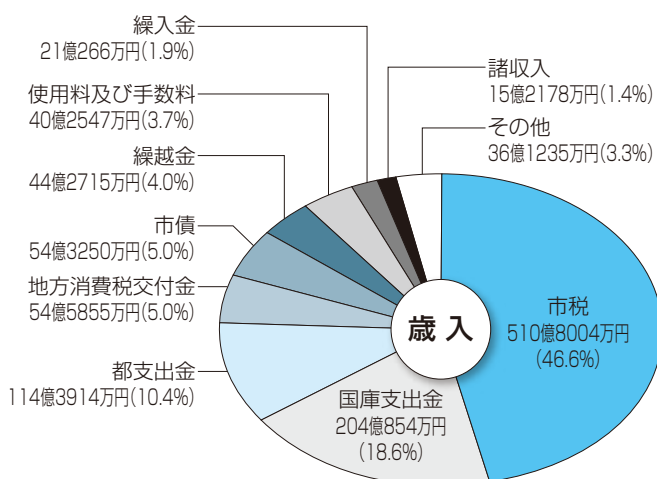
【平成29年第3回府中市議会定例会】報告

9月4日(月)～29日(金)に平成29年第3回府中市議会定例会が開催されました。

本会議、一般質問(22人29件の発言)、平成29年度補正予算、平成28年度の一般会計決算等が審議、確認されました。

平成28年度一般会計決算

歳入 / 109,508,180,105円

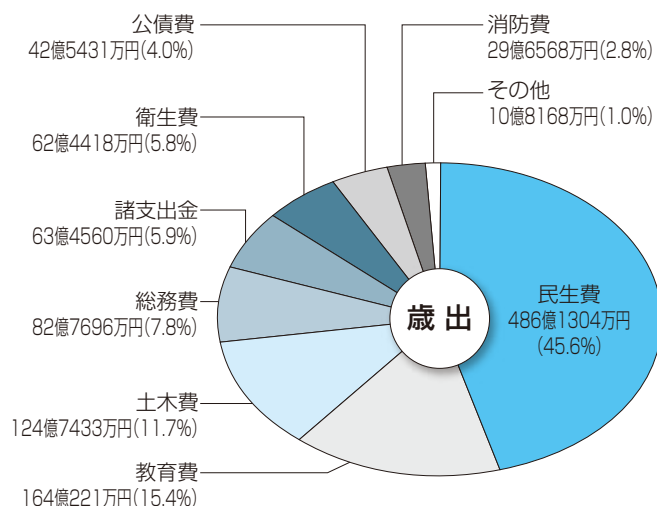


【施策の概要】

歳入では、景気の回復基調に伴い、根幹となる市税収入が前年度より0.6%の増、府中駅南口第一地区第一種市街地再開発事業の進捗等により国庫支出金が8.1%の増、都支出金が7.4%の増となる一方、税連動交付金である地方消費税交付金が10.9%の減、利子割交付金が72.5%の減、配当割交付金が25.4%の減となり、一般会計の収入済額は、1,095億818万105円で前年度に比べ9.7%の増、予算額に対して、100.0%の執行率となりました。

歳出では、未来を見据え、誰もが笑顔で暮らせるよう、待機児童の解消に向けた私立保育所等の整備や運営支援の実施、次世代の育成に向けた新しい給食センターの整備や小・中学校の老朽化対策の調査の実施、府中市のにぎわいの創出に向けた中心市街地活性化基本計画の策定や一般社団法人まちづくり府中の設立の支援の実施、地域における支え合いの構築に向けた地域福祉コーディネーターの設置や地域自主防災連絡会の設置を行うなど、安全に安心して暮らせるよう行政サービスの提供を行いました。また、府中駅南口第一地区第一種市街地再開発事業の進捗に伴い、府中駅南口第一地区市街地再開発組合に対して補助を行いました。そのほか、新庁舎建設に向けた用地の取得や基本設計を実施しました。その結果、一般会計の支出済額は1,066億5,798万5,839円で前年度に比べ11.9%の増となり、予算額に対して、97.4%の執行率となりました。

歳出 / 106,657,985,839円



平成29年度一般会計補正予算

補正予算の特徴

今回の補正予算では、当初予算編成後の状況の変化や緊急に対応が必要な事業、前年度予算からの繰越しや精算についての予算計上を行います。具体的には、府中駅南口再開発ビル「ル・シーニュ」のオープンに伴い、府中駅周辺が引き続きにぎわうよう、年末年始の来訪者が多い時期に、竹あかりによるおもてなしライトアップを実施することで、府中市への「リピーター」作り、まちづくりの「サポーター」作りを行うほか、府中駅1階に「だれでもトイレ」を設置するなど、3事業を実施します。

また、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向けた準備として、多磨駅等に公共サインを整備するなど、2事業を実施します。このほか、小学校の教室不足への対応として、児童数増加が著しい学校の教室改修を行うなど、7事業を実施するとともに、国や都の当初予算編成後の状況の変化に合わせ、保育士の処遇改善や小中学校の就学援助費の単価引き上げなどを行います。さらに、今後の公共施設の老朽化に伴う改修や改築等に向けて、公共施設整備基金への積み立てを行います。

なお、本補正予算で、多磨駅の改良に向けた整備事業や補助事業など、5事業の債務負担行為を設定します。

所属委員会報告

総務委員会

付議事件の建物の無償譲渡など5件が審議され採択された。また、陳情1件の意見書についても採択された。

再開発対策特別委員会

再開発対策等の状況について報告、審議した。会議の中で、府中駅交通広場の歩道について自転車が走行

するので歩行者が危険なことから自転車の乗り入れについて検討を提案した。

議会運営委員会

付議事件陳情2件が審議され、いずれも不採択とした。

また、議員提出議案の朝鮮民主主義人民共和国の弾道ミサイル発射や核実験に対して厳重な抗議と毅然とした対応を求める意見書1件を決議した。

地域活動等

本宿小学校東側の本宿小通りの自動車速度表示がないことから通学、通勤時に危険だという声があり、地域安全対策課にお願ひし、横断歩道の表示と30km/h速度表示を道路に表記した。▼



▲美好町1丁目から2丁目の美好町広場に抜ける東西道路の「止まれ」の道路標示が消えていることから自動車が停止しないので南北通行が危険との声があり地域安全対策課にお願ひし、道路に表記した。

スポーツタウン府中推進に向けた健康増進に関する情報発信の取り組みについて

- Q** (1)府中市内の公園などを含めた気軽にできる街歩きガイドやウォーキングコースマップ等は、どのくらいあるか
- (2)府中市内全体で自然に親しみながら巡り、健康づくりを進めるためのウォーキングコースやおすすすめ人気スポットの考え方、また方針について
- (3)府中市の健康づくり、増進の推進計画と市民への周知方法について
- (4)府中市では部署毎にウォーキングコースマップや散策マップが多く作成されてるが、その魅力や情報を窓口やホームページ、広報ではどのように整理し発信されているか
- (5)スポーツタウン府中の推進として、健康で豊かに過ごすためにスポーツ人口の裾野を拡大するきっかけづくりとしてのウォーキングについて、府中市の考え方と取り組みについて



A 【市長答弁】 (5)について、スポーツタウン府中の推進に向け、スポーツ人口の裾野の拡大を図るためには、競技スポーツだけでなく、誰もが・いつでも・どこでも取り組める、軽スポーツやレクリエーションスポーツの活用が重要だ。

特に、日常生活の中で手軽に行えるウォーキングは、スポーツ活動のきっかけづくりになるとともに、スポーツの生活化へもつながる、大変有意義な運動であると捉えており、これまでも本市では、数多くのウォーキングマップを作成し、市民の健康増進とスポーツ活動の促進を図ってきた。

さらに、平成26年度からは、新たな取組として、子どもから高齢者まで、参加者それぞれの体力やニーズに応じたコースを織り交ぜながら、市内の名所や商店街、公園・緑地など、府中の魅力あふれるエリアをめぐるウォーキングイベント「歩いて知ろう わがまち府中」を実施し、本市の魅力を市内外に発信している。

【部長答弁】

(1)生活環境部経済観光課、環境政策課、及び福祉保健部健康推進課の3課で、4つのマップを作成し、合計で24のウォーキングコースを設けている。

(2)人気スポットなどについての明確な「方針、定義」等はないが、先ほどの4つのマップでは、市の歴史的遺産や市民の憩いの場所など、多くの皆様に知っていただき、親しんでいただく名所・旧跡・自然などのスポットを、各コースに取り込むことで、市民の皆様に興味をもって取り組んでいただけるよう、工夫をこらしている。

(3)本市では、市民の健康増進のための推進計画として、平成27年度から平成32年度までの6年間を計画期間と

する保健計画「第2次健康ふちゅう21」を策定し、その中で、「あなたが主役!笑顔でつなぐ健康なまち府中」を基本理念に掲げ、4つの基本方針のもとに、まちぐるみ・地域ぐるみの健康づくりを市民との協働によって推進していくための取組を定めている。

具体的には、こころの健康づくりやライフステージに応じて定期的に健康診断や検査、診察を受けることのほか、日常生活の中で、できる限り身体を動かす機会を設け、生涯を通じて楽しめるスポーツを見つけることなど、市民が自発的に取り組むことにより、生活習慣病の原因となるメタボリックシンドロームやロコモティブシンドロームの予防につなげていくこととしている。

市民への周知方法としては、市ホームページへの掲載のほか、計画の概要版を作成し、各種の講座等やがん検診でご紹介し、周知をはかっている。

(4)ウォーキングコースマップや散策マップは、各課の窓口をはじめ、市民相談室、市政情報センターに設置し、水と緑のネットワークウォーキングマップは有償で販売し、その他のマップは無償で提供している。また、健康応援ウォーキングマップは、文化センター、体育館等にも設置している。

それぞれのマップは、観光案内を目的とするもの、自然環境の保全を推進するもの、カロリー消費量などを掲載して、生活習慣病予防につなげるものなど、作成された目的は様々だが、どのマップも本市の自然や地域の特色を生かした内容を掲載し、市民が身近にウォーキングや散策できるよう、写真やイラストを入れるほか、携帯しやすい大きさを作成するとともに、市ホームページ等でその内容を発信している。



【再質問】

(1)東京都とのコラボレーションした企画イベントやコースマップはあるか？

(2)スポーツ習慣のきっかけづくりとしてのウォーキングコースの一元管理と情報管理について、今後の考えはあるか？

(3)市民団体やNPOなどと協働した取り組みの考えはあるか？

A 【部長答弁】

(1)現在のところ、東京都とのコラボレーションした企画イベントの実施や、コースマップなどの作成は行っていないが、東京都においては、都立府中の森公園内にウォーキングコースを設定し案内されており、また、「これからの東京へ歩いていこう」TOKYOウォーク2017」という事業を年間で5回、都内をエリア別にコース設定し、今年であれば第4回目の10月21日(土)に多摩川エリアの開催が予定され、多摩川河川敷コース上で本市を通り抜ける。このような機会も積極的に活用し、府中エリアコースの設定を提案するなど、関係機関ともコラボレーションした事業の展開を働きかけていきたい。

(2)それぞれのマップは、それぞれの目的で作成しているため、そのコースを1つのマップに落とし込むのは難しいものと考えている。しかし現在、作成されている各種マップを有効活用することは、対象コースが複数あることにより、あらゆる世代へアピールする上で、さらに興味を持っていただく機会も増え、また、ウォーキングへの導入としても幅が広がると考えている。親しみやすいスポーツ活動のき

っかけづくりとして、ウォーキング普及が図られ、これらのマップの紹介を有効的に活用するためにも一体的に周知・案内することは非常に有意義であり、ホームページにおいて見やすい工夫を図ることで、一元的な情報発信を検討していきたい。

(3)ウォーキングに関する協働の取組については、現在実施しているウォーキングイベント「歩いて知ろう わがまち府中」において、「府中市歩こう協会」や「むさし府中商工会議所」、また「NPO法人府中観光協会」などの皆さんに参画していただく実行委員会でその運営方法を決定している。

現在、コースづくりは職員が中心に提案しているが、今後は、本市の魅力を市民の視点からも取り込めるように市民団体の皆さんなどとコースづくりの提案から始め、更なる協働事業の展開を図れるように工夫していく。

また、スポーツの視点のみならず、観光や商工といった別の視点も取り入れる上では、そのノウハウ等を持ったパートナーと協働することは大変有効であると考え、今後も、協働の手法により市民が、気軽に楽しくウォーキングをしていただけるように、さらに進めていきたい。

意見・要望

(1)実態的にはいろいろな場面で都とのコラボレーションがされていると認識していることから、これらのイベントをさらに充実させた取り組みの推進を要望する。

(2)それぞれの目的に応じ対象コースが複数あることは良いことだと私も思っているが、庁舎内での情報の共有化やノウハウの共有は出来ると考える。ホームページにリンクするなど探しやすい見やすい工夫を図り、一元的な情報発信の検討を要望する。

(3)市民協働と民間企業や市民団体との協働を進めなが

ら幅広い視点で取り組んでいただくことをあらためて要望する。

今回の発言がひとつのきっかけとなり、市民がそれぞれのライフステージやライフスタイルに合わせて自主的・自発的にスポーツに親しむ「スポーツの生活化」の定着と自己のスポーツ活動を通し、地域社会に貢献する。に少しでも近づくようお願い、チーム府中としてスポーツタウン府中のさらなる推進と誰もが健康な街府中の実現を願いたい。



府中市議会議員 清水 勝 プロフィール

1964年 山梨県北巨摩郡(現北杜市)生まれ
1983年 山梨県立甲府工業高校卒/㈱東芝府中工場入社
コンピュータ製造・試験・工程管理
1994年～2015年
◆東芝グループ連合・東芝労働組合役員/◆連合東京・連合三多摩・
電機東京役員/◆府中市各種審議会委員等を歴任
2015年4月 府中市議会議員初当選(①2959票)
◆東芝グループ連合・東芝労働組合顧問
◆市議会(主な役職)
2015年度 建設環境委員会副委員長/市庁舎建設特別委員会委員
2016年度 文教委員会委員/市庁舎建設特別委員会副委員長
2017年度 総務委員会副委員長/再開発対策特別委員会委員等

■清水勝HP



■Facebook



■清水勝ホームページ
<http://shimizu-masaru-fuchu.jp>

■Facebook
<https://www.facebook.com/shimizu.masaru.fuchu>

お気軽に
ご相談下さい

【連絡先】〒183-8511 府中市東芝町1番地 東芝労働組合府中支部内
TEL.042-333-6890 FAX.042-319-1481 E-mail:shimizu.masaru.fuchu@gmail.com